

事務事業評価（主要事業レビュー）【一般会計】

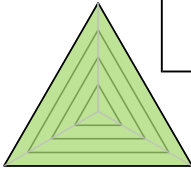
款 09消防費

項 01消防費

目 01常備消防費

事務事業番号

09010101

事業名		救急救命士等研修訓練事業							
担当部署		消防本部総務課							
根拠法令		消防法							
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価			
	予算・決算額(A)	5,304	5,032	5,236		A			
	(A)の内訳								
	国道支出金								
	地方債								
	その他								
	一般財源	5,304	5,032	5,236					
人件費(B)	7,417	7,417	7,417						
事業費計(A+B)	12,721	12,449	12,653						
事業の目的		救急救命士・大型自動車・大型特殊自動車運転資格者を養成し、円滑な隊・車両の運用を図ります。							
事業の内容									
SDGs17の目標									
		資格取得及び研修等により職務能力の向上を図りました。 ・救急救命士養成 ・大型自動車運転資格者養成 ・大型特殊自動車運転資格者養成							
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度			
		救急救命士養成	人	1	1	1			
		大型自動車運転資格者養成	人	5	5	5			
		大型特殊自動車運転資格者養成	人	1	1	1			
項目評価		高 → 低		評価の理由					
		4	3				2	1	
		有効性	●				消防活動等に必要の資格者を養成し、強固な消防体制の運用を図っているため、「4」としました。		
		効率性	●				他の職員へも知識、技術を伝承することにより、効率的な消防活動等を行うことができているため、「4」としました。		
		公平性	●				計画的な資格者の養成により市民の安心・安全を図ることができるため、「4」としました。		
事業の課題 今後の方向性		免許、資格を有する職員は、市民の安心・安全には欠かすことができず、今後も養成を継続したいと考えています。				事業継続・終了等			
						事業継続			
特記事項									

事務事業評価（主要事業レビュー）【一般会計】

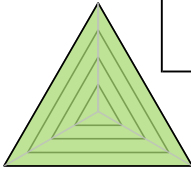
款 09消防費

項 01消防費

目 01常備消防費

事務事業番号

09010102

事業名		緊急消防援助隊合同訓練事業				
担当部署		消防本部総務課				
根拠法令		消防法				
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価
	予算・決算額(A)	1,651	1,068	931		A
	(A)の内訳					
	国道支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	1,651	1,068	931		
人件費(B)	7,417	7,417	7,417			
事業費計(A+B)	9,068	8,485	8,348			
事業の目的		緊急消防援助隊の技術の向上及び連携活動能力の向上を図ります。				
事業の内容						
SDGs17の目標						
		緊急消防援助隊 北海道東北ブロック合同訓練（山形県） TRES2025（油圧救助訓練）参加（栃木県）				
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度
		緊急消防援助隊 北海道東北ブロック合同訓練	回	1	1	1
項目評価		高 → 低	評価の理由			
		4 3 2 1				
有効性		●				技術及び連携活動能力の向上を図ることで、消防体制が強化され、水火災又は地震の災害を防除し、これらの被害の軽減が図られているため、「4」としました。
効率性		●				部内で知識、技術の伝承をすることで、質の高い隊・車両の編成、運用を行っているため、「4」としました。
公平性		●				北海道、東北及び新潟の8道県で年度ごとに持ち回りで実施し、大規模・特殊災害に、迅速かつ的確な対応ができるよう実施しているため、「4」としました。
事業の課題 今後の方向性		道内において日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震が想定されています。大地震を起因とする市街地火災、石油コンビナート火災、土砂災害、津波浸水等の複合的な災害から市民の安心・安全を守るために、計画的に訓練へ参加し、技術の向上及び連携活動能力の向上を図ります。				事業継続・終了等 事業継続
特記事項						

事務事業評価（主要事業レビュー）【一般会計】

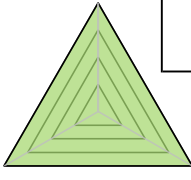
款 09消防費

項 01消防費

目 02非常備消防費

事務事業番号

09010201

事業名		消防団活性化事業				
担当部署		消防本部総務課				
根拠法令		消防法				
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価
	予算・決算額(A)	467	216	4,090	有効性  公平性 効率性	A
	(A)の内訳					
	国道支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	467	216	4,090		
	人件費(B)	2,225	2,225	2,225		
	事業費計(A+B)	2,692	2,441	6,315		
事業の目的		地域防災力の向上のため、消防団員確保に向けた取組を進めるとともに、消防団活動の充実強化を図ります。				
事業の内容						
SDGs17の目標		11 住み続けられるまちづくりを - 地域防災力の向上のため、大規模災害を想定した訓練に参加しました。 - 多数傷病者事故対応訓練 - 苫小牧市総合防災訓練 - のぼりを作成及び各種イベントに参加し、消防団への入団を促進しました。 - 春の火災予防運動期間中の大型商業施設 - 第42回とまこまいマラソン大会 2025たるまえサンフェスティバル - 備えるフェスタ2025inとまこまい				
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R5年度	R6年度	R7年度
	多数傷病者事故対応訓練		回	1	1	1
	苫小牧市総合防災訓練		回	1	-	1
	胆振地方消防訓練大会		回	-	1	-
項目評価	高 → 低		評価の理由			
	4	3	2	1		
	有効性	●			入団促進により、団員数が増加しているため、「4」としました。	
	効率性	●			消防団員の人件費が事業費の大半を占めており、必要最低限の経費で事業を実施しているため、「4」としました。	
	公平性	●			多数傷病者事故は市内全域で発生の可能性があり、有事の際の迅速な対応につながるため、「4」としました。	
事業の課題 今後の方向性		他機関との合同訓練を実施することにより、消防技術の向上と士気の高揚を図ることができました。今後も地域防災の中核を担う消防団への入団促進を図り、地域防災力の向上と消防団活動の充実強化につながる取組を実施したいと考えています。				事業継続・終了等
						事業継続
特記事項						

事務事業評価（主要事業レビュー）【一般会計】

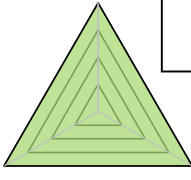
款 09消防費

項 01消防費

目 03消防施設費

事務事業番号

09010301

事業名		消防施設・装備等整備事業				
担当部署		消防本部総務課				
根拠法令		消防法				
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価
	予算・決算額(A)	69,428	69,382	72,543	有効性  公平性 効率性	A
	(A)の内訳					
	国道支出金	24,400	24,400	55,620		
	地方債	28,700	23,300			
	その他					
	一般財源	16,328	21,682	16,923		
	人件費(B)	11,126	11,126	11,126		
	事業費計(A+B)	80,554	80,508	83,669		
事業の目的		災害時等における消防活動の充実強化を図るため、老朽化した資器材等を更新し、消防体制の維持、強化を図ります。				
事業の内容						
SDGs17の目標		各種計画に基づき老朽化した施設、設備、資器材、消防水利等の整備を図りました。				
		11 住み続けられるまちづくりを ・消火栓の新設 ・防火水槽の新設 ・消防用ホースの購入 ・高度救急処置シミュレーターの更新 ・高度救命処置用資器材の更新 ・自動体外式除細動器の更新 ・感染対策用備蓄資器材の購入 ・新富出張所地下タンクライニング				
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R5年度	R6年度	R7年度
	防火水槽の新設		基	1	1	1
	消防用ホースの購入		本	110	105	120
	消火栓の新設		基	6	5	5
項目評価	高 → 低		評価の理由			
	4	3	2	1		
	有効性	●			消防活動等に必要な施設・装備等を更新し、強固な消防体制の運用を図っているため、「4」としました。	
	効率性	●			最新の施設・装備等を導入することにより、効率的な消防活動等を行うことができているため、「4」としました。	
	公平性	●			計画的な施設・装備等の更新により、市民の安心・安全を図ることができるため、「4」としました。	
事業の課題 今後の方向性		老朽化した施設・装備等の更新を図ることで、消防体制が強化され、市民の生命、身体及び財産を災害から保護することができ、事業の有効性は高いと考えています。今後も各種計画に基づき施設・装備等を更新し、消防体制の維持、強化を図りたいと考えています。				事業継続・終了等
						事業継続
特記事項						

事務事業評価（主要事業レビュー）【一般会計】

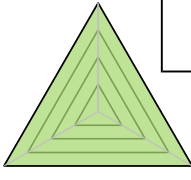
款 09消防費

項 01消防費

目 03消防施設費

事務事業番号

09010302

事業名		消防車両整備事業				
担当部署		消防本部総務課				
根拠法令		消防法				
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価
	予算・決算額(A)	123,931	123,900	119,493	有効性  公平性 効率性	A
	(A)の内訳					
	国道支出金	103,200	103,200	1,650		
	地方債			117,200		
	その他					
	一般財源	20,731	20,700	643		
	人件費(B)	7,417	7,417	7,417		
	事業費計(A+B)	131,348	131,317	126,910		
事業の目的		災害時等における消防活動の充実強化を図るため、老朽化した車両を更新し、消防体制の維持、強化を図ります。				
事業の内容						
SDGs17の目標						
		 導入から39年以上が経過した老朽化の著しい消防ポンプ自動車の更新と併せ、はしご車の代替車両と中高層における災害対応を兼ねた消防自動車として、消防署新富出張所に13m放水塔付消防自動車を導入しました。				
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R5年度	R6年度	R7年度
	消防ポンプ自動車の更新		台	0	0	1
項目評価		高 → 低	評価の理由			
		4 3 2 1				
有効性		●				大型車両のシャシ製造が不透明な状況でしたが、別の老朽化した車両を更新することで、消防体制が維持され、火災危険の抑制や災害発生時の被害の軽減が図られているため、「4」としました。
効率性		●				車両を更新することにより、車両運用の効率を図ることができているため、「4」としました。
公平性		●				計画的な車両の更新により、市民の安心・安全を確保することができるため、「4」としました。
事業の課題 今後の方向性		老朽化した車両の更新を図ることで、消防体制が強化され、市民の生命、身体及び財産を災害から保護することができ、費用に見合った効果を得ていると考えています。改正された道路運送車両の保安基準に適合する大型車両のシャシが安定製造され始めており、大型車両を中心に今後も計画的かつ効果的な更新を図りたいと考えています。				事業継続・終了等
						事業継続
特記事項						

事務事業評価（主要事業レビュー）【一般会計】

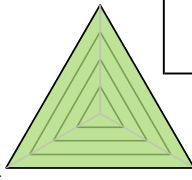
款 09消防費

項 01消防費

目 03消防施設費

事務事業番号

09010303

事業名		東胆振消防指令業務共同運用事業						
担当部署		消防本部総務課						
根拠法令		消防法						
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価		
	予算・決算額(A)	2, 199, 604	2, 199, 604	-	有効性 公平性 効率性 	A		
	(A)の内訳	国道支出金						
		地方債	945, 400	945, 400				
		その他	1, 254, 134	1, 254, 134				
		一般財源	70	70				
	人件費(B)	22, 251	22, 251	-				
	事業費計(A+B)	2, 221, 855	2, 221, 855	-				
事業の目的		東胆振 1 市 4 町における消防体制の維持・強化のため、共同指令センターを構築し市民サービスの向上を図ります。						
事業の内容								
SDGs17の目標								
 		共同指令センター構築業務契約を締結し、令和 7 年度業務として下記を完了しました。 ・高機能消防指令システムの構築 ・消防救急デジタル無線の構築						
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度		
項目評価		高 → 低	評価の理由					
		4 3 2 1						
有効性		●					指令員を増員し専従化することで、指令業務が高度化され、より迅速で的確な対応が可能となるため、「4」としました。	
効率性		●					単独整備と比較して整備費等の削減が図られているため、「4」としました。	
公平性		●					市民全員に有益なため、「4」としました。	
事業の課題 今後の方向性		令和 8 年 4 月 1 日から東胆振 1 市 4 町における消防指令業務共同運用を開始し、消防指令体制の充実強化及び消防サービスの維持・向上を図ります。					事業継続・終了等 事業終了（令和 7 年度）	
特記事項								

事務事業評価（主要事業レビュー）【一般会計】

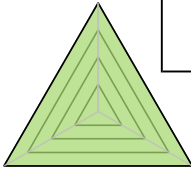
款 09消防費

項 01消防費

目 03消防施設費

事務事業番号

09010304

事業名		救急車両整備事業【繰越明許】				
担当部署		消防本部総務課				
根拠法令		消防法				
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価
	予算・決算額(A)	31,640	31,624	-	有効性  効率性	A
	(A)の内訳					
	国道支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	31,640	31,624			
人件費(B)	7,417	7,417	-	公平性		
事業費計(A+B)	39,057	39,041	-	効率性		
事業の目的		災害時等における救急活動の充実強化を図るため、高規格救急自動車を導入し、救急体制の維持、強化を図ります。				
事業の内容		 SDGs17の目標 消防施設費指定寄附金を活用し、高規格救急自動車を購入しました。				
SDGs17の目標						
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度
		高規格救急自動車の購入	台	-	-	1
項目評価		高 → 低	評価の理由			
		4 3 2 1				
有効性		●				車両を導入することにより、救急体制が強化されているため、「4」としました。
効率性		●				点検等による車両の運休が減少し、車両運用の効率を図ることができるため、「4」としました。
公平性		●				市民の安心・安全を確保することができるため、「4」としました。
事業の課題 今後の方向性		老朽化した車両の更新を図ることで、救急体制が強化され、市民の生命、身体及び財産を災害から保護することができ、事業の有効性は高く、費用に見合った効果を得ていると考えています。				事業継続・終了等 事業継続
特記事項						